

RØDE[®]
MICROPHONES



Video Mic



USER'S MANUAL
-取扱説明書-



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は RODE VideoMic をお買い上げいただき、誠に有難うございます。VideoMic は高性能のデジタル・ビデオカメラ用にデザインされたプロ仕様のショットガンマイクです。製品の性能を最大限に発揮し、未永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

特徴

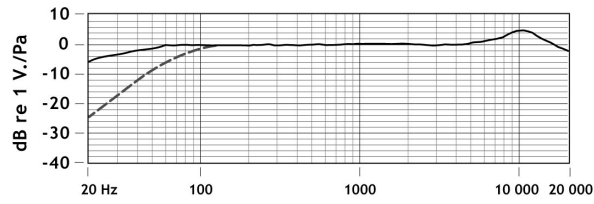
- スタジオ録音にも使用可能な高音質超指向性コンデンサーマイク
- ファイバーで補強された頑強な ABS 構造のボディー
- 9V 電池駆動
- カスタムデザインされた内蔵ウィンドシールド
- 低ノイズ回路
- 低ハンドリングノイズ
- ビデオカメラに取り付け可能なホットシュー仕様
- ウィンドスクリーン付属
- 3/8 インチマイクスタンド並びにカメラスタンドに取り付け可能

製品特性

音響原理	: ライン+グラディエント
指向性	: 超指向性
周波数特性	: 40 Hz ~ 20 kHz (HPF@80Hz 12dB/オクターブ)
出力インピーダンス	: 200
S/N 比	: 74 dB (1 kHz rel 1 pa ; per IEC651, IEC268-15)
等価ノイズ	: 20 dB SPL (per IEC651, IEC268-15)
最大 SPL	: 134 dB (@1% THD into 1k)
感度	: - 38 dB re 1 Volt/Pascal (15 mV@94 dB SPL) + / - 2 dB
ダイナミックレンジ	: 114 dB (per IEC651, IEC268-15)
電源	: 9V DC アルカリ乾電池
消費電流	: 5 Ma
乾電池寿命	: 約 100 時間
出力端子	: ミニ・ステレオフォンプラグ
サイズ・重量	: 250 mm (全長) × 102 mm (高さ) × 65 mm (幅) 219 g (電池なし 176g)

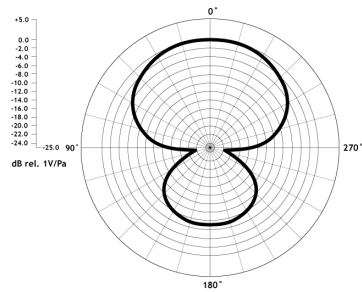
周波数帯域

Frequency range:
40 Hz ~ 20 000 Hz selectable (HPF)
@ 80 Hz 12 dB/octave.

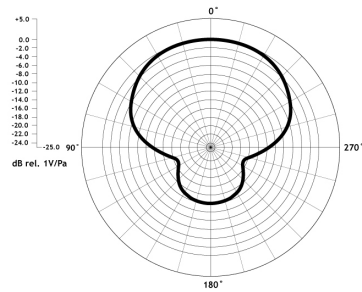


ポーラ・パターン

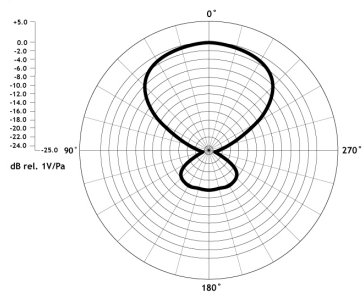
VideoMic Polar Pattern:
Super Cardioid - 250 Hz



VideoMic Polar Pattern:
Super Cardioid - 1 KHz



VideoMic Polar Pattern:
Super Cardioid - 4 KHz



バッテリーの取り付け

VideoMic は 9V アルカリ乾電池から電源を供給するようにデザインされています。長時間の使用の際はアルカリ電池、もしくはリチウム電池を使用することをお勧めします。

通常、品質の良いアルカリ電池で VideoMic を 100 時間以上使用することが出来ます。ただしそのパフォーマンスは、電池寿命の他、環境温度によっても変化します。実際の使用時間は状況によって異なりますので、常にスペアの電池を携帯するようにしてください。

電池の寿命による音質への影響が気になる場合は、録音を行う度に新しいアルカリ電池に交換することをお勧めします。

電池交換の際はカバーのリブ部に親指を当て（写真 1） 静かにスライドさせます。（写真 2）



写真 1



写真 2

+ 極を上側にして、電池を入れます（写真 3）。

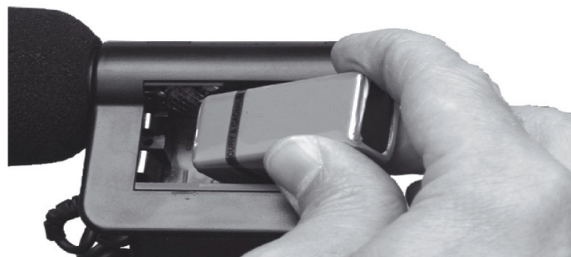


写真 3

カバーを元に戻して電池の交換は完了です。続いてマイクをカメラに取り付けます。

VideoMic の取り付け

・ショックマウントについて

VideoMic にはショックマウントの下側に、スタンダード・カメラシューアダプターが組み込まれています。(写真4) カメラのモーターノイズやハンドリングノイズを軽減するためにデザインされたショックマウントは、三脚/ポールマウント用に 3/8 インチとカメラ規格のネジ穴も空けられています。



写真4

・マイク構造

古いカメラやローコストのカメラなどでノイズが多い機器と一緒に使用する場合は、ハイパスフィルター（HPF）スイッチを ON にしてください。(図8) 余分な低域のノイズをカットします。またカメラに内蔵されているマイクがこれらのノイズを拾わず VideoMic が拾ってしまうことがあります。これは、カメラの内蔵マイクがあくまでも基本的な集音用にデザインされているためです。こうしたマイクのほとんどがモーターノイズなどの音を極力集音しないように設計されていますが、肝心の音質や指向性などに関しては殆ど考慮されていません。最新のカメラの中にはローノイズ、低振動のモーター内蔵で、静かに使用できるものもあります。

カメラシューを取り付ける前に、締付リングを半時計回りに回しておく、と、取り付けやすくなります。(写真5) カメラに取り付けたら、締付リングを時計回りにまわし、Videomic を固定します。少し緩んでいるように感じられるかもしれませんが、これはショックマウント構造の為に、不具合ではありません。

Videomic にはケーブルの接触によるノイズを防ぐ為 8 つのケーブルクリップが付いています。このクリップでケーブルの接続を固定します。



写真5



写真6

・マイクの接続

VideoMic はミニ・ステレオフィーンプラグを通して、マイクレベル信号をビデオカメラに送ります。

ミニ・ステレオフィーンプラグはビデオカメラの ” Audio In ” 端子に接続します。VideoMic は超指向性のためモノラル信号が LR それぞれに流れます。詳しくはお手持ちのカメラの説明書も併せてご参照ください。



写真 7

VideoMic の操作

・スイッチについて

VideoMic の取り付け、接続が完了したらマイクのスイッチを ON にします。

マイク本体の後方に OFF/ON/High Pass Filter の 3 ウェイスイッチがあります。(図 8、 8a)

HPF は主に低周波数帯のノイズを取り除きます。音色に微細な影響を与える事がありますが、状況によってはその効果が必要なこともあります。

マイクの電源を入れると、パワーインジケータLED が 0.2 秒程赤く点滅し、電池が十分に残っていると緑色に変わります。電池の残量が少なくなって来ると、LED は再び赤に戻り、電池の交換時期であることを表します。LED が赤く点灯してから約 1 時間ほどは使用できますが、そのパフォーマンスは十分なものではありませんので早めに交換してください。



写真 8

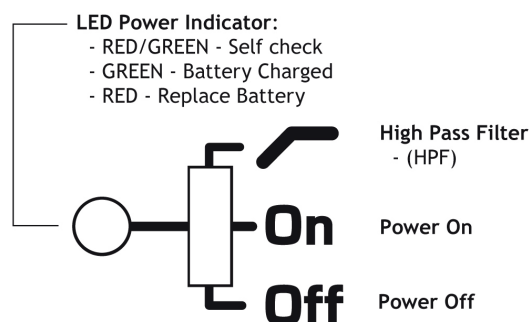


写真 8a

・オーディオレベルの調整

カメラのオーディオレベルを設定する際は、最適な信号を得るためには、ピークの 75%程度に調整する必要があります。(多くのカメラではカメラメニューよりこの設定を行うことが出来ません。)録音を開始する前に、実際に録音する音源か、同様のレベルの音源でこの調整を行ってください。レベルが高すぎると入力が歪んでしまうことがあります。この調整に関してはカメラのマニュアルも併せてご参照ください。

VideoMic は電波を発する機器による妨害を高い確率で除去する様、最適化されていますが、収録に与える影響を最小限にとどめる為に、半径 2m 以内の場所にはトランスミッター、携帯電話等を持ち込まないようお勧めします。

ウィンドシールド

VideoMic にはフォーム・ウィンドシールドが付属します。わずかな空気ノイズでもサウンドに影響を与えることがあるので、ウィンドシールドは外さずに使用してください。

RODE[®]

MICROPHONES



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。